

## フェミニスト党の政策（抄）

フェミニスト党は、すべての人は充実した人生を送るための同等の力を持っていると考えています。しかし、残念なことに、男性優位の社会体制であるのが現状です。

フェミニスト党は、女性が長い時間を掛けて様々な局面で自らの権利を勝ち取ってきた奮闘努力を引き継ぎ、この現状を変えていくことを目標とし、この問題を政策の第一に掲げています。

フェミニスト党は、現状を打破したい女性と、この闘争に協力する男性を必要としています。

女性は一人一人、その価値観も立場も様々に違います。

しかし、この男性優位の社会構造が女性の選択や機会を制限し、女性が常に不利益を蒙っているという事実は、すべての女性に共通した問題です。

様々な経験を持ち、それぞれの状況下で生きる個々の女性たちが、男性優位の権力構造に直面させられていると訴える声に耳を傾けることを、私たちは要求します。

この権力構造の中では、女性の言動は軽視されがちです。

これは社会的問題であり、正義の問題であり、それ以上に、民主主義の問題です。

フェミニスト党は、女性の置かれている状況に注目しています。

女性に対する性的商品としての扱い、暴力での支配は根強く、男性との賃金格差の問題も深刻です。性差の社会的境界を侵した女性は嫌がらせをされ、差別をされます。女性は公の場でも家庭内と同じく雑用をやらされ、子供の面倒を見なければならないからと言われて専門職に就けず、退職金の額も低いものになっています。医療研究・健康管理上でも男性中心です。

外見が西洋の白人の基準に合わない女性や年配の女性、障害のある女性は差別されます。

スウェーデンの避難者政策は避難所を探す女性の事情に対する配慮がなく、大変危険です。

女性は、教育、職場、司法の場に於いて、文化・政治の場と同様、居場所を与えられず、意見を真剣に聞いてもらえません。

フェミニスト党は国際的な男性優位の構造についても注意を払っています。

男性優位社会は、暴力と戦いにより、世界の資源の不平等な配分を導くものです。

暴力による政体は、世界人口の大半、とりわけ女性と子供に、極度の窮乏を強制します。

女兒は教育を受ける権利を否定され、子供は労働や売春をさせられ、或いは軍に入られます。

国際的団結と反軍国主義の立場は、私たちの基本方針です。

フェミニスト党は、社会的性差に基づく不平等と不正義から女性を自由にするためにあります。

男性優位の社会を変え、特定の誰かではない、すべての女性を解放するために努力をします。

これは私たちがいかにこの苦闘を続け、女性の団結をいかに形成するかにかかっています。

多くの政党がフェミニストを自称し、多くの女性議員が弛まぬ努力を続けていますが、女性の問題は大きく取り上げられることもなく、女性の生活にはいつまでも変化が見られません。

スウェーデンの男女平等政策は、男性に影響を与えない範囲で女性の社会的状況を改善するという観点からなされています。しかしフェミニスト党は女性の不利益が男性の利益によることを明確にした分析から、自分たちの政治方針を作っています。つまり、男性は特権を放棄することに同意しなければいけません。私たちはこの分析を、現代の女性活動組織と共有します。

フェミニスト党は生活の様々な局面で男性優位の社会を変える政策を出します。

私たちの前には大きな抵抗が現れるでしょう。しかし、更に大きな、フェミニストの変化への欲求が、障害に立ち向かっていくことを期待しています。